

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

【 北九州市 】

1 実践テーマ	【V】
2 実施対象者	広徳小学校 第4学年 2クラス 65名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間)
4 目標 (ねらい)	オリンピック種目であるトランポリンの体験を通して、オリンピック・パラリンピックに関心をもったりスポーツに親しんだりする態度や心情を養う。
5 取組内容	<p>1 オリンピックについて知っていることなどについて話し合う。</p> <p>2 オリンピック競技のトランポリンを紹介し、体験する。(本時)</p> <p>(1)</p> <p>オリンピック競技で、「トランポリン」があることについて子どもたちに知っているかどうかを尋ねた。子どもたちは「トランポリン」の競技について知らない子どもがほとんどであった。また、「トランポリン」それ自体についても知らない子どもが2割程度いた。</p> <p>(2)</p> <p>トランポリン体験について、4名の講師の方に来ていただき、4台のトランポリン(1台につき8名程度が使用)を使って、1クラスずつ体験した。トランポリンは本校体育館に準備していただき、2校時と3校時を使ってそれぞれ1クラスずつ体験した。</p> <p>体験の際には、トランポリンや本時の活動の基本的な注意事項(マットの十字の上を跳ぶことや乗り方、降り方の注意)を教わり、グループに分かれて以下の跳び方を体験した。</p> <p>① 基本的な跳び方の模範試技(見学)</p> <p>② その場跳び</p> <p>③ 着地</p> <p>④ 膝落ち</p> <p>⑤ 腰落ち</p> <p>⑥ 膝タッチ</p> <p>⑦ 1/2ひねり</p> <p>⑧ 組み合わせ</p> <p>グループで教わりながら子どもたちは順番に体験した。</p> <p>(3)</p> <p>講師の方から、競技用のトランポリンのことや跳ぶ高さなどに違いがあることを聞き、3人が動きを合わせて行う大きな跳躍の演技を見せていただいた。講師の方から、二人で合わせる動きがあることを教わり、片方が跳ぶ反動でもう一人が跳ぶことの面白さと危なさの両面について指導を受けた。子どもをトランポリンに仰向けに寝せた状態</p>

	<p>で、もう一人が跳ぶと子どもの大きく体が弾み、両腕で抱えてもらうこともで、実際にそのことを体験することができた。</p> <p>最後に子どもたちの活動態度や意欲に対する称賛や価値付けをしていただき、体験した子どもたちの感想やふり返りを発表して本時を終えた。</p> <p>3 さらに知りたいことや疑問などを調べる。</p> <p>4 調べたことをまとめ、発表する。</p> <p>5 スポーツのよさやこれからのスポーツとの関わり方について考えたことを交流する。</p> <p>6 単元をふり返り、まとめる。</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・トランポリンに対する興味・関心の向上をはかることができた。 ・オリンピック・パラリンピックについて興味をもち、調べたい内容について進んで調べたり、調べたことをまとめて発表したりすることができた。 ・スポーツに親しもうとする態度を高めることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心を高める導入 ・トランポリンの講師の招聘と実演 ・トランポリンの体験的な学習 ・運動や体験時間の確保 ・児童の興味や関心に応じた課題の追求
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面 ・実施時期 ・講師や費等の負担 ・会場や道具の準備等 ・継続性
9来年度以降 の実施予定	未定

【トランポリンの活動を楽しむ児童の様子】



(しっかり跳んでみよう)



(しっかり止まろう)



(膝をついて跳んでみよう)